

第54回 大阪母性衛生学会 学術集会・研修会プログラム

会 長 木村 正 (大阪大学大学院医学系研究科産科婦人科 教授)
学術集会長 御前 治 (大阪産婦人科医会副会長・みさき医院院長)

<<研修会>>

日 時 : 平成27年12月13日 (日) 10:00~12:00
場 所 : 大阪大学中之島センター 10階ホール
テーマ : 「出産と育児の文化人類学」
座 長 : 橋大介先生 (大阪市立大学大学院医学研究科 産科婦人科 准教授)
演 者 : 「モンゴル遊牧民の子育て」
島村一平先生 (滋賀県立大学人間文化部国際コミュニケーション学科 准教授)
「母系社会パラオの産後ケア」
安井真奈美先生 (天理大学文学部歴史文化学科 考古学・民俗学専攻 教授)

<<ランチオンセミナー>>

日 時 : 平成27年12月13日 (日) 12:00~13:00
場 所 : 大阪大学中之島センター (10階ホール)
テーマ : 「更年期診療の考え方~エクオールの可能性~」
演 者 : 澤田 健二郎 先生 (大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 講師)

昼食をご用意しております

<<学術集会>>

日 時 : 平成27年12月13日 (日) 13:30~17:15
場 所 : 大阪大学中之島センター 10階ホール
参加費 : 2,000円 (学生1,000円)
※平成27年度大阪母性衛生学会に未入会の方は、年会費1,000円 (学生500円) を別途申受けます

後援 : 大阪産婦人科医会、大阪府看護協会、大阪府助産師会、OGCS看護師・助産師会

<学会場案内図>



※タクシーでお越しの際は、近隣施設や建物に中之島センタービル等類似した名称の建物がございますので、「**大阪市立科学館 北側の『大阪大学中之島センター』**」とお伝えください。

◆電車によるアクセス

京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分

阪神本線 福島駅より 徒歩約9分

JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分

JR環状線 福島駅より 徒歩約12分

地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分

地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約16分

※大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通に面しております。

10階建ての最上階がガラス張りで薄緑色に見える建物が大阪大学中之島センターです。

※駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。

Time Schedule

	時刻	会場（10階ホール）
研 修 会	9:55～10:00	オリエンテーション
	10:00～10:05	会長挨拶
	10:05～12:00	研 修 会
昼 休 憩	12:00～13:00	ランチョンセミナー
学 術 集 会	13:15～13:20	学術集会長挨拶・オリエンテーション
	13:20～14:10	第1群(5題)
	14:10～15:00	第2群(5題)
	15:00～16:10	第3群(7題)
	16:10～17:10	第4群(6題)
	17:10～17:15	閉会挨拶

<学術集会>

学術集会長：御前 治（大阪産婦人科医会副会長・みさき医院院長）

第一会場 ○が発表者

第一群（5題）13:20～14:10

座長：三崎 美保（大阪市立住吉市民病院）

- 日本・韓国・在日コリアン未婚カップルの家族形成に関する価値観
○高知恵
（大阪府立大学 地域保健学科 看護学類）
- 子育て支援セミナー“腹八分目育児のすすめ”の効果
○古山美穂¹⁾・佐保美奈子¹⁾・山田加奈子¹⁾・高知恵¹⁾・藤原鏡子²⁾
（大阪府立大学地域保健学科看護学類¹⁾・母微笑助産院²⁾）
- インターネットに求める子育ての悩み - Yahoo知恵袋を分析して -
○北川木乃美¹⁾・瀬川文穂¹⁾・古山美穂²⁾
（大阪府立大学地域保健学科看護学類1期生¹⁾・大阪府立大学地域保健学科看護学類²⁾）
- ダウン症児をもつ家族の心理変化と育児支援について
○松井菜々子¹⁾・高知恵²⁾
（大阪府立大学地域保健学科看護学類1期生¹⁾・大阪府立大学地域保健学科看護学類²⁾）

5. 父親の育児量と夫婦関係満足度に関する研究

○森川真美・大橋一友

(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

第二群 (5題) 14:10~15:00

座長：白石 三恵 (大阪大学 医学系研究科保健学科)

6. 一次医療機関における産後大量出血対応シミュレーション

○松本美代子・伊藤幸子・岩淵貴子・高祖小百合・谷口武

(医療法人定生会 谷口病院)

7. 体重減少10%以上の児における補足判断に対するケトン体測定の意義について

○西秋津・土居暁・竹田昌美・矢野由美子・今井明子・谷口武

(医療法人定生会 谷口病院)

8. 産科病棟で経験した強迫性障害合併妊婦と看護師の関わり

○清水由紀

(大阪市立総合医療センター)

9. 妊娠糖尿病と診断された褥婦への産後早期のフォローアップ

～応用行動分析的介入の活用～

○浅見里香・赤座千賀・手古優花・長谷川紀子・三崎美穂

(大阪市立住吉市民病院)

10. 分娩期における助産師の内診技術

○三浦佐弥香¹⁾・真利珠恵¹⁾・山本彩乃¹⁾・小笹幸子²⁾

(聖バルナバ助産師学院 97 回生¹⁾・聖バルナバ助産師学院²⁾)

第三群 (7題) 15:00~16:10

座長：町浦 美智子 (大阪府立大学 地域保健学科看護学類/看護学研究科)

11. CLoCMiP®に必要な研修実施報告

○鷺森かおる・大林幸恵・西村美津子・福島ひとみ・峰博子・高野恵子

(大阪府看護協会 助産師機能委員会 助産師の卒後研究の支援方法のあり方を検討する小委員会)

12. 産科混合病棟に関する研修後の各施設の実態調査

○大國恵・吉田吉香・高橋有美・岩野紀子・中野由美・高橋香織・高野恵子

(大阪府看護協会 助産師機能委員会 助産師の卒後研究の支援方法のあり方を検討する小委員会)

13. 保健福祉連携の推進と機能向上のための活動

○金英仙・求原祥子・山本ゆかり・速見祥子・嶋岡由果理・福岡由梨奈・三田村七福子

竹村秀雄 (医療法人竹村医学研究会 小阪産病院)

14. 総合周産期医療センターにおける医療者の移行期支援に関する意識調査

—結婚・妊娠・出産に向けた思春期からの支援のために—

○川久保柚希・谷口朋未・徳永美咲・菅原雅子・太田絵里子・宮川・祐三子・岡本陽子

(大阪府立母子保健総合医療センター)

15. 妊娠期における母子健康手帳の活用状況
○斉藤瞳¹⁾・荒金里英¹⁾・岡積志帆¹⁾・永谷彩乃¹⁾・小笹幸子²⁾
(聖バルナバ助産師学院 97 回生¹⁾・聖バルナバ助産師学院²⁾)
16. 妊婦の地震災害に対する意識と取組み
○村山杏奈¹⁾・小林純代¹⁾・芝本早和子¹⁾・永安洋子¹⁾・西森茜音¹⁾・小笹幸子²⁾
(聖バルナバ助産師学院 97 回生¹⁾・聖バルナバ助産師学院²⁾)
17. 女子高校生の産婦人科受診行動に影響する因子
○小山郁美¹⁾・木瀬理恵¹⁾・清水絢香¹⁾・濱田沙季¹⁾・松田結¹⁾・百田有華¹⁾・吉田皐¹⁾・
小笹幸子²⁾
(聖バルナバ助産師学院 97 回生¹⁾・聖バルナバ助産師学院²⁾)

第四群 (6 題) 16 : 10 ~ 17 : 10

座長 : 松浦 祥子 (聖バルナバ病院)

18. 緊急帝王切開となった初産婦の気持ちの変化 ~妊娠・産褥期の保健指導の見直し~
○西田真紗美・伊澤智香子・亀川しのぶ・石井志摩
(十三市民病院)
19. ライフイベントで直面する同性愛者の生きづらさ
○瀬川文穂¹⁾・北川木乃美¹⁾・古山美穂²⁾
(大阪府立大学地域保健学科域看護学類 1 期生¹⁾・大阪府立大学²⁾)
20. 子どもと死別した母親のレジリエンスに関する基礎的研究
~他の死別体験者との比較を通して~
○竹田陽子・粟村昭子
(関西福祉大学大学院 社会福祉学研究科)
21. 産褥 1 か月健診における児の栄養方法に影響を与えた要因
○高井裕子・水谷洋子・雲下美樹・張年子
(大阪市立住吉市民病院)
22. ソフロロジー式分娩における産前教育の対児感情への効果
○山崎静花・長谷川紀子・美崎美保
(大阪市立住吉市民病院)
23. マタニティビクス受講者が感じている「楽しさ」について
○宮野美千代・廣瀬えり・金英仙・竹村秀雄
(竹村医学研究会 小阪産病院)

企業展示（順不同）

大衛株式会社

株式会社クマノミ出版